

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 5月 15日

事業所名 音楽特化型 コスモス・キッズ2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1			
	2 職員の配置数は適切である	4	2	1		制度上の人員は配置している。利用児童の特性・人数によって配置を充実させ、また記録や保護者対応に人員を配置したい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		毎月のミーティングで意見交換をしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				毎回保護者からのご意見を聞きつつ改善の努力は常にしている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		1	HPで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	1		吹田市の機関支援を利用している。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			業務調整を行い研修に参加している。研修内容を会議で報告して共有している。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			モニタリングや事業所内カンファレンスを行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		毎回担当スタッフで話し合いながら、個人に合わせた活動の充実を図っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		長期休暇中は、グループでのお楽しみ会等を実施している。	年に2回インクルージョンのイベントを開催し交流を図る、保護者会の実施など行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			グループ活動などの提案をしている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1			毎回支援前にミーティングを行い、個別の状況に合わせた取り組みや支援の方法は常に話し合っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		普段から意見を出し合い共有できる環境である。	毎回支援前にミーティングを行い、個別の状況に合わせた取り組みや支援の方法は常に話し合っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			6か月ごとにモニタリングを実施している。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	1		実施の連絡があれば積極的に参加する体制は常に取っている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	3	3	相談支援事業所を介している。	学校から情報を得るには個人情報保護の観点から難しさを感じている。要請があれば協力体制を取って対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	2		現在は対象児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	5	1	相談支援事業所を介している。	園から情報を得るには個人情報保護の観点から難しさを感じている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5		相談支援事業所を介している。	園から情報を得るには個人情報保護の観点から難しさを感じている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2			アウトリーチ研修を受けた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	4	クリスマス会などイベントを企画している。	イベントを通じて交流の機会を作り、参加を呼び掛けていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	1		自立支援協議会の取り組みが解らない。要請があれば参加したい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			セッション後に振り返りを行っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	1	研修情報を提供している。	職員が積極的に外部研修に参加する。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			対面や電話等で行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			保護者交流会を年数回を目安に開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			事業所の通信を発行している。SNSで情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報は施錠できる棚に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		2		保護者会の開催など実施している。参加を呼び掛けていきたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2			コロナ禍のため行事は行っていなかったが今後実施していくので参加を呼び掛ける。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		1	利用児童に危険が及ぶと予想される場合は、個別支援計画にその旨を記載している。	常にスタッフ間での情報共有に努めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1		飲食の提供は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1			報告書を作成し、ミーティング等で情報共有している。